

第4回仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会 議事録

日 時 平成25年11月27日(水) 17:00~18:10
会 場 仙台市民会館 第2会議室
出席委員 宮原委員長、志賀委員長代理、相澤委員、加藤委員、佐藤憲子委員、佐藤万里子委員、
中村委員、橋浦委員、渡邊委員
欠席委員 紺野委員
事務局 中鉢交通事業管理者、清水東西線建設本部長、立野管理部長、佐藤管理課長、
伊藤推進係長、結城主事

1 開会

○事務局(佐藤管理課長)

傍聴の皆様、会議の傍聴に際し、守っていただきたい事項について、お知らせいたします。
会議の円滑な運営を守るため、会場では次の事項を守っていただきますようお願いいたします。

- 1 会議中は、静かに傍聴し、拍手をしたり発言する等会議の進行を妨げるような行為をしないこと。
- 2 はち巻、腕章の類をする等示威的な行為をしないこと。
- 3 飲食又は喫煙をしないこと。
- 4 写真撮影、録画、録音等を行わないこと。ただし、仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会の同意を得た場合はこの限りではありません。
- 5 他の傍聴人の迷惑になるような行為を行わないこと。
- 6 その他、会場の秩序を乱し、又は会議を妨害するような行為をしないこと。
- 7 係員から指示があった場合は、速やかに従うこと。

以上の事項に違反した場合は、退場していただく場合がございますので、お理解・ご協力をお願いいたします。

それでは定刻になりましたので、ただいまから第4回仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会を開催いたします。

はじめに、定足数の確認をさせていただきます。本日は、9名の委員が出席しておりますので、仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会設置要綱第5条第2項の定足数を満たし、委員会が成立しておりますことをご報告いたします。なお、紺野委員から、本日はご都合により欠席とのご連絡をいただいております。

また、ここで資料の確認をさせていただきます。本日、委員の皆様のお手元には、次第と、資料1と2、それと座席表、またこれまでの委員会の資料で、第1回の資料(駅周辺の航空写真)、第3回の資料で、市民意見の募集結果の資料、これをお配りしております。もし過不足がございましたらお知らせ下さい。よろしいでしょうか。

それでは、続きまして、本日、交通事業管理者の中鉢裕が出席しておりますので、議事に入ります前に、ひとことご挨拶申し上げます。

○中鉢交通事業管理者

交通事業管理者の中鉢でございます。よろしくお願い申し上げます。

第4回ということで委員会開催にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。まず冒頭にお詫びでございますけれども、これまで3回開催させていただきましたけれども、私どうしても日程の調整が付かずに、今日初めての参加ということになりまして、大変申し訳なく存じております。この場をお借りいたしましてお詫び申し上げます。

さて、検討をお願いしております仙台駅を除く12の駅につきまして、前回の委員会で一通りのご意見が出されまして、そのうち10の駅については、一定の案にまとまり、2つの駅が継続審議になっているというような状況かと存じます。

本日はその第4回の委員会でございますけれども、継続審議の2駅についての審議が中心になるかと思っておりますけれども、その他の駅についても最終的な確認もということになるかと思っております。

東西線の駅名につきましては、市民の皆様はじめ町内会等各種団体からも、いろんなご要望ご意見が寄せられておりまして、その関心の高さが伺われるところでございますけれども、各委員の皆様には様々な観点から活発なご議論、ご審議をいただきまして、その結果として、委員会としての提言案をまとめていただければ幸いであると考えているところでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（佐藤課長）

はい、それでは、これから議事に入りますので、宮原委員長、議事の進行をお願いいたします。

2 議事

(1) 東西線正式駅名案について

○宮原委員長

どうも皆様こんばんは。お晩でございます。ちょうど今日は5時からのスタートということで、もう日が暮れてまいりましたけれども、今日はまた議事に入りたいと思います。いつもですと交通局のお部屋のちょっと広めのところだったのですけれども、今日は少し小さなお部屋ですけれども、傍聴の方もいらっしゃいますので、いろいろお話していきたいと思っております。

前回、10月21日に案をいろいろと検討しまして、今回第4回目も、同じく駅名案の検討をいただくというその時間に充てさせていただくという形にしておりますので、今日また皆様からたくさんご意見をいただきたいと思っております。

議事に入ります前に、本日の議事録署名委員の指名をさせていただきます。前回は紺野委員にお願いをいたしましたので、引き続き五十音順ということで、本日は佐藤憲子委員にお願いしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

○佐藤憲子委員

(うなずく)

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。よろしくお願い致します。

それでは議事に入ります。お手元の次第をご覧ください。本日の議事は、前回に引き続きまして「東西線正式駅名案について」とその他でございます。

今回は前回に引き続いての審議ということで、事務局に二つの資料を準備していただきました。前回の審議内容をまとめた資料と、前回の委員会開催後に駅名の案についてあらためて寄せられたご意見やご要望をまとめた資料をお付けしております。まずは前回の審議内容をまとめた資料について事務局からご説明をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○事務局（伊藤推進係長）

はい。それでは、はじめに前回の第3回委員会での審議内容の要旨について、資料1によりご説明いたします。

まず、駅名選定の審議を始める冒頭、資料1の一番上に記載しております駅名選定基準をもとに審議を進めていくことを確認しております。

個別の駅名選定に関する審議内容の要旨につきましては、下の表にまとめております。

まず、仮称動物公園については、仮称のままでも十分わかるとの意見もありましたが、観光誘致などを考慮して、地名の八木山を付けて「八木山動物公園」がよいという整理がなされました。

次に青葉山、川内については、駅周辺の地域性を考慮した駅名がよいということで、仮称どおりとなっております。

国際センターについては、駅周辺に国際センター以外にも著名な施設があることなどから、仮称駅名はそぐわないという意見や、学術文化・観光拠点という地域特性を考慮した包括的な名称とするべきという意見が出されまして、継続審議になっております。

西公園については、住民の方から「大町」という町名を付けてほしいというご要望がありましたが、大町は、一般論として駅の東側というイメージがあるとの意見もあり、仮称どおりとなっております。

次に一番町ですが、青葉通を付けた方が駅位置を特定しやすいということで、「青葉通一番町」で整理されました。

新寺については、唯一宮城野区内にできる駅であることなどから、地域の代表的な通り名である「宮城野通」で整理されております。

連坊については、周辺の地域名を代表して仮称どおりとなっております。

薬師堂については、陸奥国分寺をつける意見もありましたが、陸奥国分寺は宗教法人としての存在もあることから、仮称のままとしております。

卸町については、卸町と大和町の両方の地域から要望があり、漢字の「大和」の読み間違いがないようにとの意見から、ひらがなの「やまと」、漢字の「卸町」をつないで「やまと卸町」で一旦整理されましたが、のちに「もうすこし審議した方がよいのでは」との意見もあり、継続審議となっております。

六丁の目、荒井については、わかりやすいことを考慮し、仮称のままとして整理されております。

以上、仮称から変更することで整理した駅は3駅でありまして、「動物公園」を「八木山動物公園」、「一番町」を「青葉通一番町」、新寺を「宮城野通」とし、継続審議となった駅は、2駅で「国際センター」と「卸町」です。その他は仮称駅名がよいとの整理がなされております。

なお、正式駅名ではありませんが、東北大学については、学都仙台の象徴でもあるので、青葉山

駅と川内駅において副駅名などで案内することや、西公園駅においては広瀬川の案内、また、連坊駅については、市民意見募集において仙台一高を用いた駅名に、という意見が多数ありましたので、これも副駅名などで案内する方法について、配慮してほしいという意見がありました。

資料 1 についての説明は以上です。

○宮原委員長

ありがとうございました。ただ今事務局のご説明にありましたように、前回の検討委員会では、委員の皆様から様々なご意見をいただきまして、二つの駅を除く各駅について、概ね合意できる駅名の選定まで進めることができました。継続審議という形になったのは、(仮称)国際センター駅と(仮称)卸町駅の 2 駅です。

国際センターも皆様で考えてみたり、他に、ということで案をかなり議論したのですが、結論に至りませんでした。

それから、(仮称)卸町駅につきましては、「やまと卸町」駅とすることで一旦整理をしましたが、加藤委員のほうから「再度、もう一回ここは話し合った方がよいのでは」ということで、ご提案がありましたので、今回はここまでにして、今回続きを審議するというような形にさせていただきたいと思えます。

卸町に関しまして、加藤委員のほうから再度、再審議の趣旨についてお伺いしたいと思えます。よろしくお願ひします。

○加藤委員

はい。「やまと卸町」について再審議をお願いしたのですが、理由としましては、はっきり言ってしまいますと、何となく自分の中で響きが悪いというのがありまして、他の駅名ですと割合長くても、自分の中で読んだときに、しっくり来る駅が多かったのですが、「やまと卸町」については何となく収まりが悪かったので。

あと、もうひとつ。二つの町名を繋げたということになっているのですが、どう切れているのかが、もしかしたら分かり難いのではないかと、というのがありまして、他によい駅名があれば、そちらの方がよいのではないかと、提案した次第です。

○宮原委員長

はい。ありがとうございました。

今の加藤委員のご意見からもう一回委員で確認させていただくという形にしたいと思えます。

それから前回委員会のあとに、事務局の方に審議内容、私たちが 10 月にいろいろ審議しました内容を踏まえまして、ご意見やご要望が寄せられたということです。これらのご意見・ご要望の要旨につきまして、事務局で資料にまとめていただきました。この資料の内容につきましても、事務局からご説明いただきたいと思います。ではお願ひします。

○事務局 (伊藤推進係長)

はい。それでは、資料 2 の第 3 回検討委員会開催後の駅名に関する意見・要望についてご説明いたします。これは、前回の第 3 回委員会で審議された内容について、後日、各方面から寄

せられましたご意見、ご要望についての要旨をまとめたものであります。いただきましたのは、市議会議員、地域団体、市民の方からのメールによるものです。

まず、1番目は、「東西線・まちづくり促進調査特別委員会」という東西線に関して審議する議会の場合などにおいて、お二人の市議会議員の方からいただいた個人的なご意見ではありますが、一点目は、「やまと卸町」、「青葉通一番町」、「八木山動物公園」については、駅名としては長く感じる事。更に「青葉通一番町」は、仙石線の「あおば通駅」と間違いやすいこと。継続審議となった「やまと卸町駅」に関しては、卸町関係団体の東西線建設への多大の貢献を考慮すべきこと。「国際センター駅」については、他の事業者でも同様の駅名をつけている事例があるので、仮称でもいいのではないかと。なお、「仙台城址」などを用いた駅名は、駅周辺の地域性と整合しないので避けるべきであること。命名が難しい場合は、複数駅の提言など、必ずしもひとつに絞り込まなくてもいいのではということ。「仮称駅名がいい」という市民意見が多いことを最大限考慮してほしいこと。このようなご意見をいただいております。

続いて2番の地域団体からのご要望です。

まず、(1)の(仮称)西公園駅に関する、地元の仙台市大町会の皆様からのご要望です。(仮称)西公園駅につきましては、前回の委員会においても、ご紹介いたしました、大町会から「大町西公園又は大町通り西公園」にしてほしいとのご要望をいただいております、今回、改めて同様の駅名にしてほしいとの強いご要望をいただいております。

理由につきましては、大町は西公園より何倍も歴史が古く、由緒ある地域であり、特に仮称西公園駅に近い地域は、かつては「大町頭」と称し、格式も高いということ。南北に長い西公園に大町を付けた方が駅の場所を特定しやすいし、観光客にもわかりやすいということ。バス停名、交番名にも大町を付けており、命名の一貫性を図ること、また、出入口も大町内にできることも考慮し、「大町西公園」又は「大町通り西公園」にしてほしいというご要望です。

次に(2)の(仮称)卸町駅に関する卸町地区まちづくり協議会ほか4団体からのご要望です。(仮称)卸町駅につきましても、前回の委員会でご紹介いただきましたが、卸商センターから、ひらがなで「おろしまち駅」にしてほしいとのご要望をいただいております、今回は、卸商センターを含む卸町地区の団体から、改めて、漢字又は平仮名の「卸町(おろしまち)」にしてほしいとの強いご要望をいただいております。

理由につきましては、卸町地区の団体は、東西線事業に対して大きな貢献をしてきているという主旨で、東西線の開業を見据え、長い時間、仙台市と協働で、新たな交流、賑わいが生まれる街づくりに取り組んできたこと。また、卸町は、駅周辺を代表する地域であるという主旨で、駅名については、単に駅周辺の地域名を表示するということではなく、卸町が仙台の将来の発展につながる新しい街となることや、駅名の表記は親しみやすく、分かりやすいものとするべきあることを踏まえて、漢字又は平仮名の「卸町(おろしまち)」にしてほしいというご要望です。

続いて3番のメールによる市民からのご意見として、「青葉通一番町」と「宮城野通」についていただいております。「青葉通一番町」については、市議会議員からのご意見と同様に、駅名としては長いこと、また、場所を特定するために「青葉通」を付けたのであれば、場所が特定しにくい南北線の「広瀬通」と混在し、選定に矛盾があるというご意見。また、「宮城野通」については、仙石線の「宮城野原駅」と混同するし、仙台駅東口付近なのか、総合運動場付近なのか、具体的な場所が特定できないというご意見をいただいております。

各方面からいただいたご意見、ご要望については、以上です。

○宮原委員長

はい、どうもありがとうございました。

たくさんのご意見をいただいております。前回の審議では、皆様のご意見をもとに、一定の整理をしましたけれども、ただ今の加藤委員の卸町に関するご意見および資料2によるご意見やご要望を踏まえて、私としては、前回一旦整理した駅名も含めまして、今回あらためてひとつひとつ皆様と再確認していった方がよいのではと思っております。

ただ、その前に、加藤委員のご意見も含めて、資料2のご意見・ご要望について、どのように扱っていったらよいかというのが今回の大きなテーマになるのではないかと思います。これにつきましては、前回の審議で俎上に上らなかった事項もあると思うので、最初に意見・要望についての論点整理を行っておきたいと思えます。

ただいま伊藤係長からご説明があったとおりですけれども、まず一つ目の論点として、前回の委員会では、駅の所在地を特定しやすくするために、「青葉通一番町」や「八木山動物公園」など、仮称駅名のほうに地域名を付加する駅名を選定しましたが、そのために一方では駅名が長すぎるのではないかとのご指摘がありました。逆に（仮称）西公園駅のように、駅の所在地を特定しやすくするために、地域名を付加してほしいという要望もあります。「所在地の特定しやすさ」や、「駅名の長さ」等について、少し相反する意見もあるのですけれども、「命名の整合性」も含めて、委員会としてどのように考えていくかという整理が必要だと思えます。

2点目は、「青葉通一番町」や「宮城野通」のように命名した場合に、周辺の駅と紛らわしいという意見に対しての整理です。

3点目は、駅に隣接する地域が複数あって、それぞれ異なる要望が出ている（仮称）卸町駅について、さきほど加藤委員からもご意見ありましたけれども、駅名としての分かりやすさや、駅周辺の地域性の観点から、どうあるべきかの整理を行なう必要があると考えています。

個別の駅名の審議に入る前に、これらの点について皆様のご意見を伺って整理したい、というふうに考えております。

今日は、紺野委員がご欠席なのですけれども、この点につきまして事前に紺野委員からご意見を伺っておりますので、事務局からご紹介をお願いします。

○事務局（伊藤推進係長）

本日欠席されている紺野委員から事前に伺っているご意見について紹介いたします。2点ほど伺っております。

1点目は、各方面からのご意見、ご要望についての意見です。ご意見、ご要望はあるものの、駅名については、前回の委員会で一定の整理がなされているので、これを基本とし、本日は、前回、継続審議となった2駅について重点的に審議してよろしいのではないのでしょうか。なお、ご意見、ご要望については、委員会として特に配慮などが必要と認めたものに限り、再審議を行なうべきでないでしょうかというご意見です。

2点目は、継続審議となった仮称国際センター駅と卸町駅についてのご意見です。まず、仮称国際センター駅につきましては、前回も発言したとおり、東北を代表する国際都市仙台のシンボルとして、国際センターの名称を用いて仮称のままでもよろしいのではないかとということ。

(仮称) 卸町駅については、一旦「やまと卸町」で整理しましたが、やはり駅名として違和感があるので、卸町の駅周辺地域としてのネームバリューや分かりやすさを考慮して、仮称の「卸町」が望ましいとのことであります。

紺野委員からのご意見は以上です。

○宮原委員長

はい、ありがとうございました。欠席されていますけれども、紺野委員からご要望に関する委員会としての扱い、それから、継続審議になっております2駅についてのご意見をいただきました。

ご出席の皆様からもご意見を伺っていきたいと思います。まず、最初の論点としてなのですが、けれども、「所在地の特定のしやすさ」、「駅名の長さ」、「命名の整合性」というところになりますけれども、具体的には「青葉通一番町」と「八木山動物公園」のように、仮称駅名に地域名を付加することで所在地を特定しやすくした結果、駅名が長くなったというご意見が出ていることについてです。

また一方で、西公園駅も地名を付加してほしい、というご要望もあるということです。こちらについて、ご意見ありましたらお願いしたいと思います。また、紺野委員のご意見についてもお話下さって結構ですので、よろしく申し上げます。いかがでしょうか。

はい、では加藤委員をお願いします。

○加藤委員

まず、駅名が長いという指摘についてなのですが、この市議会議員からの意見と一般からの意見で、長いというふうに言われているのですが、何をもって長いというのが書いていないので、字数なのか音の数なのか分からないのですが、市議会議員の方は国際センターについては長いと言っていないので恐らく音の数が多いので長く感じられる、ということだと思っております。「青葉通一番町」ですとか「八木山動物公園」についてはもうバス停の名前になっていて、一般に聞く機会も沿線の人が多いと思うので、そこまで違和感を感じないのではないかと思います。指摘のあった「青葉通一番町」と「八木山動物公園」についてはそのまま良いのではないかと思います。「やまと卸町」についても長いと言われているのですが、これは周辺にちょうどよい施設があまりないので、今すぐにどういうものが良いかという代案は出せないのですが、これは検討した方がやはりよいのかなと思っています。

○宮原委員長

はい、ありがとうございました。

他にいかがでしょうか。では橋浦委員をお願いします。

○橋浦委員

はい。要望等に対しての全体的な整理について、紺野委員のご意見を踏まえてなのですが、概ね紺野委員の方向性に私も賛同しておりまして、これまで、駅名検討委員会で審議してきた議論の結論というのは、基本的には踏襲すべきだと思っております、やはり継続審議のところを中心に議論していくということが原則だと思うのですが、一方で地域の要望というのはや

はり無視できない。特に地域からの要望の中で利益相反しないというか、誰にも迷惑をかけない要望が上がっている場合には、最大限考慮してもよいのではないかと思います。

○宮原委員長

具体的にというのがありますか。

○橋浦委員

「駅名が長い」という指摘に対しては相澤委員が詳しいかもしれませんが、他の事業者等でどれくらいの駅名をして「長い」とするのかということに関しては、今までの審議の中で8文字とか、そういう一つの目安があったかと思いますが、概ねその長さの中には納まっているので、「長い」というのは主観的な問題ですので、それ以外の観点から議論すべきではないかと思っています。

それから地域団体からの要望に関して大町と卸町から要望が上がっていますが、やはり今後地下鉄の街づくりをしていく上で、恐らく仙台市もそうだと思うのですが、地域の方との二人三脚というか、どうやって街を中心に地域づくりをしていくかと、いう問題が非常に大きな問題だと思っておりますので、地域の方がより親しみを持って、なおかつその駅名を愛するという状況の中で街づくりができた方が、より今後のまちづくりに対してプラスの効果が生まれるのではないかと考えれば、地域からの要望は最大限考慮すべきではないかということです。

○宮原委員長

どうもありがとうございました。他にご意見ございませんでしょうか。

はい、では志賀委員お願いします。

○志賀委員

これまでの会議の中からそれが最適なのか、もうこれ以上ないのかということに関しては私も分からないところがありますが、まずは基本線というか、資料1に示されております東西線駅名選定基準、これをしっかり我々委員同士で理解を行ったうえで、出てきた名前だと思っております。これを動かしてしまうと「何でもあり」の世界かと思っておりますので、関心の高さというふうに言われましたけれども、まさにこういうことに関しては本当に多くの方が関心を持っている点は充分分かるのですが、この駅名の選定基準、これをしっかり基準として動かさずに、これに基づいて決めるというのが基本姿勢と言ってよいのではないかと思います。

それで、ここですべてを決められるという話ではないのですね。ここで出てきた案を最後は交通局の方で、市の方でお決めになるということですので、いろいろな方からのご意見もいただいで、どこが相応しいのかをご検討されて、最終版を決めて行かれればよいのではないかと思います。

あと副呼称とか副駅名については柔軟に使っていく、ということでない、すべて割り切ってぼんと出した名前、多くの皆様が大丈夫だというふうにはならない。たまたま見ましたけれども勾当台公園、県庁側とか市役所側とかして表示してありましたので、その名前が全部出ていくということにはなってしまうのですが、実際利用される方にとって見れば、あるいはパンフレット等の表現の仕方から考えれば、副呼称の使い方というのは結構効いてくるのではな

いかと思います。

それから継続審議のところですけども、私は国際センターに関しては紺野委員の仰っていたことで、よろしいのではないかと思います。それから卸町は先ほど加藤委員が仰っていたように、両方に配慮するというような思いもあったのですけれども、そうすると一つの街なのかなあというふうに誤解を受けるような懸念がありますね。自分にとってはこれだというような結論は出せないのですけれども、これは議論をしたうえであらためて結論を出すべきではないかと思います。

○宮原委員長

ありがとうございます。他にご意見いかがでしょうか。いまの、最初の論点の部分ですね。皆様の方から、基本的には、検討委員会で最初に選定基準を皆で議論して決めましたし、それに基づいた駅名案を作ったということですから、まずはそれをきちんと尊重しながら、私たちの委員会として案を出していく、という中で、それぞれいろいろご要望もありながら、整理をしていくということになるかと思います。

あと、志賀委員のほうから副駅名、これも上手に使ってみてはどうだ、というご意見もありました。実際に私も神戸とか京都の市営地下鉄に乗りまして、仙台市の方にも資料としてレポートを上げたのですけれども、神戸市の地下鉄もかなり柔軟に副駅名・副呼称等、使われておりまして、これは観光客が多い神戸、市民の人達が、かなり市域が広いので、いろんな所からみえた方たちが、利用しやすいように、間違えないようにという配慮が、かなり効いた心遣いのある駅名の使い方だなと思いましたので、そういった方法で、副駅名を上手に使っていくというのもありなのかなと思いました。

それから個別の駅名等にも皆様からお話しが出てきていますので、あとでもまた最終的にそれぞれの駅をひとつひとつチェックしてご意見をいただきたいと思います。

卸町が先に出ておりますが、また戻しまして、二点目の論点で、周辺の駅と紛らわしいという名称についてのご指摘がありました。「青葉通一番町」と「宮城野通」についてですが、こちらについて、また付け加えてご意見がありましたらお願いしたいのですがいかがでしょうか。

「青葉通一番町」は、ご利用されるお客様が位置関係を分かるように「一番町」に「青葉通」を付けました。それから「宮城野通」もどちらかというと他所から見た方たちに分かりやすくということで付けたのですが、逆に「紛らわしいのでは」というご意見もあるということですね。これいかがでしょう。

はい、では橋浦委員お願いします。

○橋浦委員

その点については実はこれまでの委員会の中で議論されてきましたよね。実は私、「宮城野通」のときには、「宮城野原」と紛らわしいのでは、というご意見をさせていただいたのですけれども、委員会の意見として、それはあまり心配ないだろうということで決着しておりますし、「青葉通一番町」のときにも似たような議論の中で、その心配に及ばないだろう、ということで議論されていたように思います。委員会としての結論は、そのときにこの問題については結論が出ているのではないかというふうに思われますが、いかがでしょうか。

○宮原委員長

そうですね。いま、紺野委員や志賀委員や皆様から委員会でとりあえず決めたことを基本にして、というところでやっていくということなので、これについては委員会で決めたとおりの形で提案していきたい、ということによろしいでしょうか。

○委員一同

(異議なし)

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。

次に3点目の部分、先ほどからもご意見いただいております、これは継続審議になっている部分ですが、(仮称)卸町駅のように、こちらにつきましてももう既にご意見を出していただいております。

当初、「やまと卸町」という駅名を皆様と検討したのですが、そうするとどこで切っていくか分からないという、先ほど加藤委員からも二つの町名がどう切れていくのかというのが、ちょっと不自然ではないかというご意見もありました。

それから先ほど橋浦委員からお話のあったとおり、これから地域で街づくりをいろいろしていく中で、ひとつは地域の方の要望をどう考えていくかという中で、駅名を付けておしまいはないので、この地下鉄東西線にたくさんの方、他所の方も地元の方も乗っていただいて、そしてどんどん利用していきながら地域が発展していくという、そういったことを考えておくのも必要ではないか、というご意見もいただいたかと思えます。

(仮称)卸町の駅に関して、引き続きご意見ありましたらお願いしたいのですけれどもいかがでしょう。

はい。では佐藤万里子委員、お願いします。

○佐藤万里子委員

私は前回、欠席だったのですけれども、議事録を拝見して、「やまと卸町」というふうに、もう一回審議をするということにはなったのですけれども、一応委員会としてそういう名前が審議されたということも拝見して、やはり、大和町と卸町と、二つの町が、続いている一つの名前になっているという誤解をされてしまうのではないかなということと、それからあそこの街としては、卸町というのが街としての顔だと思いますので、私は卸町という名前で決めたほうが良いのではないかと思います。

○宮原委員長

ありがとうございます。他にご意見ございますか。

では佐藤憲子委員、お願いします。

○佐藤憲子委員

前回の委員会のときには、今日は載ってないのですけれども、たしか大和町のほうの町内会のご意見も資料として私たち拝見したように思います。そういうのもありまして、あの時は地

域の方々の要望も最大限に入れて、というのもあって、結果的には繋げたような形での提案になりましたけれども、今日の私の気持ちとしては、確かにあれからいろいろ考えてみて、やはりじっくり来ないという加藤委員の意見も分かるし、「繋げただけではやはり・・・」というのものもあるし、誰よりも今日のご意見にもありましたけれども、これからの街づくりを見据えた駅名というのを、この委員会から提案していったらよいのではと思っています。

それで、私は平仮名で「おろしまち」というのがどうかと思っています。

○宮原委員長

そうすると全部平仮名で？

○佐藤憲子委員

はい。

○宮原委員長

はい、ありがとうございました。他にいかがでしょうか。ご意見ありますか。

では、中村委員、お願いします。

○中村委員

私は皆様とおおよそ一緒の意見ではあるのですが、前回は駅の場所を見て、卸町と大和町の間なので、両方の利用者が半々ぐらいだろうということで、「やまと卸町」としましたけれども、やはり、私もじっくり来ないとは感じております。やはり、地元の間が、「やまと卸町」でじっくり来ないものを駅名にするのは、そぐわないのかなと感じておりました。卸町の団体からの要望が前回出ておりましたし、街づくりの観点ということを考えますと、「やまと卸町」という曖昧な表現よりは、「卸町」のほうが私も正直じっくり来ますし、よいのかなと思っています。

前回の卸町の要望だと、平仮名が希望という資料になっていたかと思しますので、平仮名表記でもよろしいのかと思いました。

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。大体よろしいですか。卸町に関しましては、いま、委員の皆様からもう一度「卸町」という名称にした方がよいのではないかというご意見がありました。

またあとでも再確認をしたいと思いますが、引き続きその先のお話もさせていただきます。3点目に関しては、(仮称)卸町駅を改めて仮称のとおり「卸町」または平仮名で「おろしまち」にした方がよいという結論になろうかと思えます。

国際センターですけれども、紺野委員からは「国際」は外せないという、国際都市仙台を見据えて、「国際センター」という名称を使ったらどうかというご意見です。前回も皆様からいろいろな案が出されたのですけれども、やはり決まらなかったのですよね。ここら辺のことを考えて、改めていかがでしょうか、ということで、ご意見ありましたらぜひお願いします。

はい。では佐藤憲子委員お願いします。

○佐藤憲子委員

前回の委員会でも「大手門」とか、仙台城に関係するものを付けたいという委員会の気持ちというのはあったと思ったのですが、なかなかどれかというのを選べないというか、どれもちょっと違うかなというのが、そういう感じがしました。結論としましては、紺野委員とか他の方々も思っていると思うのですが、私もここは「国際センター」、仮称のとおりでよろしいのではないかと考えています。

○宮原委員長

ありがとうございました。「国際センター」、他にいかがでしょうか。
はい、では渡邊委員をお願いします。

○渡邊委員

はい、「国際センター」の名前は、とてもよいと思うのですが、やはり私はあそこが仙台城の場所であるというのは、仙台の誇れる伊達政宗の建てた仙台城をいろいろな人達が知っている、また伊達政宗がこれだけ有名な人だということからすると、国際センターだけではないと思います。例えば大手門が素晴らしかったということをおの間、仙台の方から写真を見せてもらって、復元したいと思ったぐらい素晴らしかったので、「大手門」という名前をどこかに入れられたらよいのかなと思います。

国際センターなのですけれども、今度国際会議が、仙台で27年に行われるのですけれども、あれは確か川内の会館で行われると思うのですよね。そうすると国際センターは駅の前かもしれませんが、「国際センター」という名前でもなくてもいいのではないかと私は思います。

○宮原委員長

はい、ありがとうございました。やはり歴史のある場所、ゆかりのある場所なので、そういった歴史的要素を入れると良いのではないかとのご意見でした。
いかがでしょうか。なかなかここは難しいですね。相澤委員いかがですか。

○相澤委員

この間の委員会の中でも出たと思うのですが、新しく造られる会議場がどういう名称になるかというので、かなりそちらが規模的には大きなものになって、それが相応しい名前であるならば、国際センターよりもしかしたらそちらの名前のほうが相応しいのかもしれない。そちらはまだお決まりになられていないと思うのですが、国連防災会議が行われるので、多分急ピッチで造っていて、出来上がるのは東西線の開業前ですよね。という意味合いでそちらの名称がどういう名称になるかによって「国際センター」が相応しいのか、新しく造られる会議場の名称が相応しいのかで、決めた方がよいのではないかとこの間があります。

私も仙台市民ですが、青葉城は多少遠いのですが、旅行者が行く部分でもあそこを基点にしても行きやすいということも考えると、先ほどいろいろな議論がありました副駅名の使い方とか、そういうところでご配慮をいただければよいのではと思います。駅名は「国際」という文字を残したいという紺野委員のお気持ちも分かりますし、仙台がこれから国際都市として伸びていくという思いをこめた駅名がどこかにあってもよいのではというのも分かりますので。た

だ、今、「国際センター」で委員会としてパッと決めちゃうというのは、ちょっと新しい施設がどうなるか分からないと、決めづらいなという。新しい施設の名称が相応しいのであれば、そちらでもよいのではないかという気がします。

○中鉢交通事業管理者

こちらからよろしいでしょうか。

○宮原委員長

はい、お願いします。

○中鉢交通事業管理者

私も前回の議論を議事録で拝見しまして、今の点がなかなか不明な段階での議論と、いうことになっているのかなと思っておりまして、実際今急ピッチで造っておりまして、国連防災会議、これに間に合わせるように今造っています。

位置付けにつきましては、現在調整中ということではあるのですが、今の仙台市の考え方としましては、あそこにあるコンベンション施設、展示場という形になりますけれども、これを国際センターの一部とすると、いうふうな方向での調整をしております。どこまで言うか私今ちょっと迷っているのですけれども、あまり言い過ぎるとちょっと「先走りし過ぎ」と言われるので困るのですが、国際センターの一部に取り込むということでいま調整を進めています。

従って、名前は国際センターの何かの展示場みたいな形になりますので、(仮称)国際センター駅の目の前に、国際センターの一部が見えるということになるかということです。これ以上まだ言いにくいですが、そういう整理です。

○宮原委員長

はい、ありがとうございました。中鉢交通事業管理者からのご案内がありまして、いかがでしょうか。

はい、橋浦委員。

○橋浦委員

私が国際センターの駅を躊躇していた理由が、まさに相澤委員と同じ「コンベンションセンターが出来たときにそちらの方が代表的な施設になった場合に、非常にバランスを欠くのではないか」という懸念が一番でございましたので、今の話から国際センターの一部ということになれば、問題ないだろうと思います。

また、あくまでも東西線より先に出来る、ということであれば、施設名が決まってからでも遅くないぐらいの話で、ここの委員会としては仮称どおり「国際センター」のままでもとりあえずご答申させていただき、新しい施設の名称等を考慮して決めて下さい、ということではよいのでしょうか。

○宮原委員長

ありがとうございます。そうすると仮称駅名のままで提出して、新しい施設の名称が決まっ

た場合に、駅名もあらためて決めていただく場合もある、ということによろしいですか。

はい、では佐藤憲子委員お願いします。

○佐藤憲子委員

この駅に関しても、この国際センターを仮称のまま提案するにも場合においても、先ほどから何回も出ていますように、副駅名というか、これまで仰っていたのが分かるような様な感じの工夫というの、併せて委員会としてご要望していただけたらと思います。

○宮原委員長

そこを付記するという形で。

○佐藤委員

そうしていただけたらいいなと思います。

○宮原委員長

はい、ありがとうございました。

という形でいくつか論点があったのですが、それぞれ皆様からご意見をいただいておりますので、一応各方面からのご意見ご要望については、また整理して審議していくということで、これから各駅の駅名について改めて再確認をさせていただきたいと思います。

資料1に従っていききたいと思います。

まず、西の方からですね。仮称駅名を「動物公園」としたところを委員会では、「八木山動物公園」というふうにしました。いかがでしょうか。これは前回の決定どおりでよろしいでしょうか。

○委員一同

(異議なし)

○宮原委員長

はい。それから「青葉山」は仮称どおり、「川内」は仮称どおり、それから「国際センター」ですが、今日継続審議で皆様からご意見をいただきました。今回新しく作られる施設の情報もいただきましたうえで、ここは仮称のままにすると。ただし副駅名等を積極的に用いて、柔軟に対処してほしいと。いう形によろしいでしょうか。

○委員一同

(異議なし)

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。

それから「西公園」になります。こちらに関しては大町の皆様からのご要望があります。こちらに関してはこういった形でもっていったらよろしいでしょうか。先ほどから卸町のほうは

ご意見いただいていたのですが、大町のご要望についてはご意見いただいておりますので、「西公園」として、委員会としては仮称どおりという形になっております。もしご意見ありましたらお願いします。

はい、では加藤委員からお願いします。

○加藤委員

先ほど橋浦委員だったと思うのですが、利益がぶつからない場合には配慮してもよいのではというのが出ていましたので、「大町」と付けても問題ないのではと思います。あと、西公園といいますと、大町に近い方もそうですけれど、このすぐ南側、SLの置いてあるところからも西公園になっているので、そういう意味ではどこにあるのか分かりにくいという意見はそれなりにその通りだと思うので、多少地域の限定をしたほうがよいのではないかと考えていたところです。

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。橋浦委員お願いします。

○橋浦委員

同意見です。地域の方の要望をある程度尊重するという観点からそう思います。

○相澤委員

いいですか。

○宮原委員長

はい、相澤委員。

○相澤委員

私も大町周辺は詳しくないというか、どこからどの辺というのがあるのですけれども、写真でいただいている第1回の配布資料で見ると、南側の大手町、片平、大町のちょうど町境、真ん中であって、声を上げられている方が大町だけではないかというのが若干気になります。大手町近辺の人達からするとどうなのだろうというのが懸念材料としてはあるかな、というのがあります。

○事務局（佐藤管理課長）

私から発言させてください。

○宮原委員長

はい。

○事務局（佐藤管理課長）

この度、大町会のほうから再度要望がございましたけれども、その中で、大町会という町内

会だけではなくて、片平の町内会も併せて要望したという形で提出いただいています。

○相澤委員

では私の懸念は無しで。

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。他に皆様の方からご意見ございますか。

ひとつは、利益相反はないであろうということや、地域の街づくり等の観点から、それから分かりやすさ、位置関係ですね、それから今情報をいただきまして、複数の街の方からも、ということなので、案としてここに「大町」を入れるという形でよろしいですか。

○委員一同

(異議なし)

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。

それでは、こちらは「大町西公園」という形でよろしいですか。

○委員一同

(異議なし)

○宮原委員長

案として出しますので、また微修正あるかもしれませんが、私どもの委員会としては「大町西公園」という形で出させていただきます。

次に、「一番町」です。これは、先ほどの委員会の基本理念そのままということで、「青葉通一番町」ということでよろしいでしょうか。

○委員一同

(異議なし)

○宮原委員長

それから「新寺」に関しましては、「宮城野通」、委員会の案で、そのままということでよろしいですか。

○委員一同

(異議なし)

○宮原委員長

それから、「連坊」は仮称どおりで、「薬師堂」も仮称どおり。

○委員一同
(異議なし)

○宮原委員長

それから、「卸町」に関しましては、皆様からいろいろ議論いただいて、ご意見が一致しました。

ただ、名称の中で、漢字の「卸町」なのか、平仮名の「おろしまち」なのかということで、二つご意見が残っていたような気がするのですが、これは案としてはどちらでお出した方がよろしいですか。

はい、志賀委員。

○志賀委員

はい、私は漢字がよいのではないかと思います。要するに卸町の街のでき方というのが、卸売りとか卸商があって、小売と卸という、そういうのから出てきている地名だと思うのです。そうすると、平仮名にしてしまった瞬間、優しさとか柔らかさが出るのかもしれないですけど、街の機能というのをあそこはもっと打ち出すというか、主張すべき場所ではないかという気がするので、そういう意味では漢字を使ったほうがよいのではないかと思います。

○宮原委員長

というご意見ですが、いかがですか。はい、では渡邊委員お願いします。

○渡邊委員

私も今の意見に賛成をしたいと思います。あそこは確かにいろいろな商店、商業用地でもありますので、卸商の街ということであれば、「卸」を漢字で入れていただきたいと思います。

○宮原委員長

分かりました。はい、では相澤委員お願いします。

○相澤委員

地域に方々のご希望を聞くということで言うと、資料 2 の 2 (2) で卸町地区のまちづくり協議会 4 団体からのご要望ということで、前回の資料の中にも、同じような文面が入っていたという記憶があるのですが、志賀委員、渡邊委員のお話があったように、発展してきたのはそれで発展してきた。

ただ、「思い」としては、これから新しい街をそれに新たに付加して発展をして行きたいという思いがかなり入っているのではないかと、この文面からは受け取れます。そういう方々たちが、親しみやすさとか、卸町という卸問屋的な、私のイメージとしてはそういうところがありますが、そこからひとつ皮がむけて、新たにいろんなものを付加して発展していきたい、という思いで平仮名表記をご要望されているのであれば、それもひとつの考え方なのではないかということで、個人的には平仮名表記もよいのではないかと思います。

○宮原委員長

それぞれなるほどという感じですが、いかがでしょうか。
では、佐藤万里子委員。

○佐藤万里子委員

両方のご意見、そのとおりだと思うのですが、私はやはり漢字の方がよいかと思いま
す。

○宮原委員長

ありがとうございます。佐藤憲子委員。

○佐藤憲子委員

私は先ほど「おろしまち」と平仮名で、と思ったのですが、今日私は、「やまと御町」
が「卸町」に、この委員会で落ち着いたというところで、とりあえずはすごく安心している
ところですので、正直、地域の方がどちらを要望しているか、表記の仕方まで要望なさっている
のか、それともただの駅名として、『やまと卸町』ではなく」と仰っているのかというところ
が気になります。

確かに御町というのが出来た頃から見ている私としては、そこが出発点なので、原点として
漢字なのかなというところはありませんでしたが、私の気持ちとしては、「おろしまち」とい
う平仮名の方が、何となく上向きのようなイメージがあります。

先ほど「優しさとかではなくて」ということを仰ったけれども、どちらでもよいような気もし
ますが……。決められないですね。

○宮原委員長

委員会として、漢字名と平仮名を併記して提言としてお出ししておくということでもよい
のかと思いますが、多分この時間の中でなかなか議論できない、決められないのかもしれない
ので、ここに関しては、漢字の名前、それから平仮名の名称を併記して提言しておくとい
うことでもよろしいですか。

○委員一同

(異議なし)

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。

○宮原委員長

ありがとうございました。

皆様から本当に貴重なご意見をいただきながら、以上ですべての駅につきまして私どもの委
員会として選定する駅名の案を決定することが出来たと思います。

最後にもう一度すべての駅名について確認をさせていただきたいと思います。

(仮称) 動物公園駅につきましては八木山動物公園駅、
(仮称) 青葉山駅につきましては仮称どおり青葉山駅、
(仮称) 川内駅につきましては仮称どおり川内駅、
(仮称) 国際センター駅につきましては仮称どおり国際センター駅、
(仮称) 西公園駅につきましては大町西公園駅、
(仮称) 一番町駅につきましては青葉通一番町駅、
(仮称) 仙台駅につきましては仮称どおり仙台駅、
(仮称) 新寺駅につきましては宮城野通駅、
(仮称) 連坊駅につきましては仮称どおり連坊駅、
(仮称) 薬師堂駅につきましては仮称どおり薬師堂駅、
(仮称) 卸町駅につきましては漢字または平仮名で卸町駅、
(仮称) 六丁の目駅につきましては仮称どおり六丁の目駅、
(仮称) 荒井駅につきましては仮称どおり荒井駅、
ということですのでよろしいでしょうか。

○委員一同
(異議なし)

○宮原委員長

はい、ありがとうございました。

それから、付帯意見としましては、資料 1 にございますが、青葉山と川内につきましては、東北大学の名称をどちらかに入れてほしい、また、連坊につきましては、仙台一高の名称を、副駅名等で案内することに配慮していただきたい、それから加えて今日議論ありました国際センターの副駅名・副呼称についても、ご配慮いただきたいということになります。

特に副駅名で付帯意見ございますか。付け加えておきたいという。いかがでしょうか。

○委員一同
(異議なし)

○宮原委員長

議論の中では大丈夫ですね、特に出てきているところはないと思います。

それでは今日、以上ですべての駅につきまして、私どもから仙台市の方に提案する駅名案というものを決定させていただきました。ありがとうございます。

それでは、ここまでの審議結果をまとめた提言書ですが、作成作業につきましては委員長である私にご一任いただきまして、内容については委員の皆様にご覧いただいたうえで、私が当委員会を代表して仙台市交通事業管理者へ提出するというようによろしいでしょうか。

○委員一同
(異議なし)

○宮原委員長

ありがとうございます。それではそのようにさせていただきます。

(2) その他

○宮原委員長

それでは、本日予定していました議事は終了いたしました。委員の皆様から、何かその他でございますか。

○委員一同

(発言なし)

○宮原委員長

よろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。

それでは、事務局の方からは、他に何かございますか。

○事務局(佐藤管理課長)

はい。本日を含めまして都合4回の検討委員会で、予定どおり、委員会としての最終駅名案について決定していただくことができました。ありがとうございました。

今後の予定でございますが、検討委員会での決定内容を委員長より交通事業管理者へ提言いただきまして、これを受けて、本年中に仙台市として正式駅名を決定していくことになっております。

委員の皆様、本当にありがとうございました。

最後になりますが、交通事業管理者から一言御礼を申し上げます。

○中鉢交通事業管理者

ただいま、各委員の皆様には、大変お忙しい中、長時間にわたりまして、熱心にご議論いただきまして、ありがとうございました。

おかげさまをもちまして、この委員会におきまして、委員会としてのご意見がまとまったということだろうと存じます。これから、委員長のもとでの提言書を作成していただきまして、各委員のご承認を得たうえで、正式にご提言いただくと、いうことになってまいるかと思えます。

あらためまして、各委員の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、この駅名が決まりますと、東西線のPR、それから駅周辺、沿線のまちづくりに非常に弾みがつくと私は思っておりますので、今日こういった結論に至ったことについて心から感謝申し上げたいと思います。

27年度の開業に向けまして、精一杯頑張っております。今後ともいろいろご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

3 閉会

○事務局（佐藤管理課長）

それでは、これで、「第4回 仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会」のすべてを終了いたします。ありがとうございました。

議事録署名人

平成25年2月7日

仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会 委員

佐藤 憲子